

平成28年6月17日

総務文教常任委員会 会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成28年6月17日  
開会 10時45分 閉会 11時22分
- 2 場 所 幕別町役場3階会議室
- 3 出席者 委員長 寺林俊幸 副委員長 野原恵子  
委員 板垣良輔 小田新紀 岡本眞利子 千葉幹雄  
議長 芳滝仁
- 4 傍聴者 内山美穂子 小島智恵 中橋友子
- 5 事務局 事務局長 細澤正典 議事課長 澤部紀博 係長 佐々木慎司
- 6 調査及び審査事件
- 1 付託議案の審査について
- 陳情第5号 「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書」の提出を求める陳情書
- 2 道内視察研修について
- 3 その他
- 7 審査結果 別紙

総務文教常任委員会委員長 寺林俊幸

## ◇審査内容

(開会 10:45)

○委員長(寺林俊幸) ただいまより、総務文教常任委員会の会議を開きます。

まずはじめに、ただいま6月1日からのクールビズ期間ということで9月が終了するまで、それぞれの委員の皆さまにおかれましては、期間中、それぞれ適宜対応していただきたいというふうに思います。

それでは、本日の議題につきましてはお手元に配布のとおりであります。

まず、はじめに、1番、本日付託されました、議案の審査についてでありますけれども、皆さんご承知のとおり、先般付託された陳情につきましては、取下げがなされました。それで、本日、新たに付託された陳情第5号、「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書」の提出を求める陳情書を議題といたします。

この陳情について委員の皆さんのご意見をいただきたいと思います。挙手をされてご意見を述べていただきたいと思います。

岡本委員。

○委員(岡本真理子) 本陳情は、何度も出されているかと思いますが。内容的にも前回とも同じなんですけれども、子どもの教育をしっかり保障するという観点からも大変重要な陳情ではないかと思います。また、内容をみますと、給付型奨学金の拡充ということも記載されていることから、学ぶ意欲のある学生が経済的な理由から学ぶことを断念するということが大変痛ましいことでもありますので、そのようなことがないようにという拡充をするというようなことが書かれていることから、大変重要な大切な陳情ではないかと思いますので、この内容にいたしまして、私はこれを理解ができるころだと思います。

以上です。

○委員長(寺林俊幸) ほかにご意見ございませんか。

野原委員。

○副委員長(野原恵子) 今、貧困の格差が広がるなかで、どの子どもたちにも行きとどいた教育ということでは、経済格差によって学ぶ機会が狭められるということは避けなければならないと思います。そういう点で、ここには義務教育の無償化、そういうことも謳っております。そして、教職員に関しましても、教職員の定数もしっかりと拡充していく。こういうこともこのなかに謳われております。そういうところでは、子どもたちにとっても、教職員にとっても、これは大切な陳情書ではないかというふうに思います。そういう点で、私はこの陳情をみているところです。

○委員長(寺林俊幸) ほかにございませんか。意見がないのでこれで閉じます。

ただいま出されました意見の内容については、この陳情を認めるというような趣旨のご意見がほとんどかと思いますが。ここで反対討論を省略しまして採決を行いたいと思いますけれども、それにご異議ございませんか。

(なしの声あり)

○委員長(寺林俊幸) それでは、陳情第5号、「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率

1/2 への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書」の提出を求める陳情書に対しまして、可といたしたいと思えますけれども、ご異議ございませんか。

(なしの声あり)

○委員長（寺林俊幸） それでは、陳情第5号、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書」の提出を求める陳情書については採択とさせていただきます。

なお、この報告書につきましては、正副委員長に一任を願いたいというふうに思います。